

亀田4兄弟物語

国際医療福祉大学大学院
武藤正樹



亀田4兄弟

- 亀田俊雄(1948年)
 - 亀田家9代当主
 - 戦後、鴨川に引き上げてきて30床の病院を開設
- 亀田俊孝(1967年)初代理事長
 - 亀田家10代当主
 - 医師数20名足らずの中
小病院
- 亀田4兄弟の代になって急成長
 - 亀田俊忠(11代当主)
、外科
 - 1982年理事長
 - 亀田隆明 血管外科
 - 2008年理事長
 - 双子の兄弟
 - 亀田信介 整形外科
 - 亀田省吾 産婦人科

亀田4兄弟

- 亀田俊忠(長男)



- 亀田信介(双子)



- 亀田隆明(次男)



- 亀田省吾(双子)



亀田4兄弟の経営戦略

- 経営戦略

- 父、亀田俊孝が病院長の時代は医師数も20名足らずの中小病院
- 4兄弟の代になって急成長する
- 亀田4兄弟の経営モデル
 - 産学共同体、地域統合モデル
 - 米国モデル追求
 - インテグレイテッド・ヘルスケア・ネットワーク(IHN)
 - 「地域において急性期ケア病院、亜急性期ケア病院、外来手術センター、プライマリーケア施設、検査・画像診断センター、リハビリ施設、介護施設、在宅ケア事業所、医療保険など、地域住民に医療サービスを提供するために必要な機能を可能な限り網羅的に有する医療事業体」

インテグレイテッド・ヘルスケア・ ネットワーク (IHN)

- センタラヘルスケア
 - センタラ・ノーフォーク総合病院を中核とし、半径100キロメートルの医療圏に約120の医療関連施設を保有する複合事業体
 - 総合病院と小児専門病院などの専門病院を中核として医療機関を経営統合
 - 医科大学を併設
 - 開業医ネットワークとの連携
 - 機能の重複を上手く避けて、互いに補完し合っている
 - 規模のメリットを追求



ノーフォーク バージニア州
サンタラヘルスケア

IHNモデルの成功の秘訣

- 地域における医療機関の大規模な統合ネットワークの形成
- 規模のメリット、ネットワーク内の機能分化と重複投資の防止を通じて、浮いた財源で医療技術の進歩に合わせた設備投資と人材育成を継続
- 医療人材養成機関(医学部、看護学部など)を併設
- 医療における民間的経営手法を徹底的に追求する
- 医療と経営の分離
- 民間手法による地域連携から地域統合へ